

令和 8 年 4 月 1 5 日

令和 8 年千葉市教育委員会会議第 4 回定例会

[参考資料]

報告事項（2）関係	1
議案第 2 4 号関係	9

千葉市教育委員会

教育だよりちば

EDUCATION of CHIBA CITY

●発行:千葉市教育委員会 ●編集:教育総務部企画課 〒260-8722 千葉市中央区千葉港1番1号 TEL:043-245-5908 FAX:043-245-5990

●「教育だよりちば」は、年4回(4月・7月・10月・1月)発行。HPやスマホアプリでも閲覧できます。

教育だよりちば

検索



千葉開府900年記念

絵画展

イオンモール幕張新都心で
開催されました!



2面・3面では、
絵画展で展示された
作品と制作した子どもたちを
紹介しているのじゃ!

ちばのすけ
千葉介
郷土博物館
キャラクター



目次

P2・P3 教育関係の主な事業 / 開府900年記念絵画展

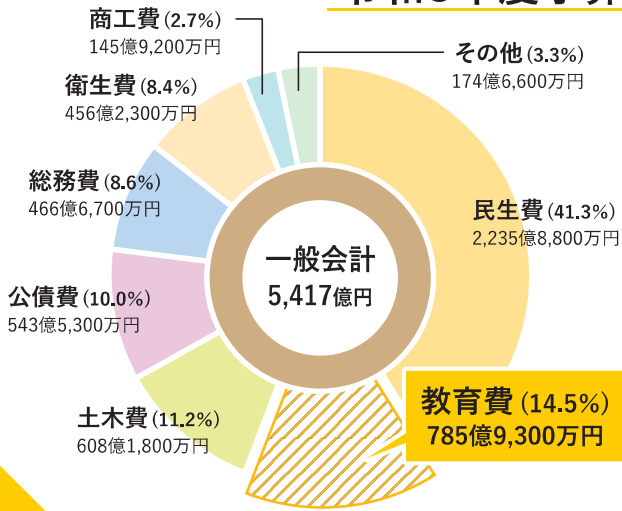
P4・P5 今年は千葉開府900年

P6 ギガタブが新しく変わります

P7 未来の科学者育成プログラム / 縄文春まつり / 加曽利貝塚新博物館整備 / 加曽利貝塚出土品が市指定文化財に

P8 ふれあいパスポート / 教育だより刊行終了のお知らせ

令和8年度予算の内訳



主な使い道

- 教職員の人件費
- 学校など施設の改修費・管理運営費
- 学校給食関係費
- 学校備品の購入費 など



教育長
つるおか かつひこ
鶴岡 克彦

令和8年度 教育関係の主な事業

教育環境の整備

■ 体育館冷暖房設備整備

熱中症対策や災害時における避難所としての機能充実を図るため、体育館の冷暖房設備整備を進めます。

■ 学校施設の環境整備

安全・安心な教育環境を確保するとともに、建物の長寿命化を図るため、老朽化した学校の大規模改造、外部改修を実施します。



学校教育



■ 学校給食費の支援

食材価格の高騰に対応し、本市のめざす安全・安心でおいしい給食を提供するため、学校給食費を増額改定します。令和8年度については、小学校は、国により新たに交付される「給食費負担軽減交付金」及び国の重点支援地方交付金を充当し保護者負担を求めないこととします。中学校は、増額分について、重点支援地方交付金を活用し、保護者負担を据え置きます。



1面から
続きます

900年のバトンを未来へ
子どもたちが描く ちばの物語

千葉開府900年記念
絵画展

令和8年 2/27(金) - 3/8(日)

郷土に愛着や愛情をもてるよう、本市の文化や歴史、伝統について教育活動の充実を図ります。



将来自分が見る千葉市が、自然豊かであってほしいという思いを込めて描きました。色づかいや、花びらの波紋の描き方を工夫しました。

星久喜中 3年

自然がかこむ千葉の姿

問い合わせ 企画課

新たに、幕張新都心若葉住宅地区に「幕張若葉小学校」が開校し、小・中・中等教育・高等・特別支援学校167校で、令和8年度がスタートしました。

令和8年は、千葉開府900年という大きな節目の年です。千葉市のまちの繁栄は、大治元（1126）年に千葉常重が大椎（緑区）から現在の亥鼻付近（中央区）に本拠を移したことにより始まったとされています。この節目の年を記念し、千葉開府900年記念事業として、学校現場を含めた全市をあげて、さまざまな取組みを進めていきます。

今月号は開府900年記念号とし、表紙および2・3面では、先月まで開催されていた開府900年記念絵画展の様子や展示作品について、4・5面では、今年度実施される記念事業について、子どもたちが参加できる取組みを中心に紹介しています。

さまざまな記念事業を通じて、千葉市のまちの成り立ちや歴史を知ることにより、子どもたちの郷土への愛着や誇りを育み、豊かな未来につなげていくためのよい機会となることを願っておりますので、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本誌「教育だよりちば」は、今月号（142号）をもちまして、刊行を終了することとなりました。これまでご愛読いただいた全ての皆様に心から感謝申し上げます。



令和8年度予算に盛り込んだ教育関係の主な事業についてご紹介します



の充実



■ 特別支援教育指導員の増員

特別な支援が必要な児童生徒が在籍する学校に対して、子どもたちの行動や情緒面、集団参加の改善や支援体制の整備を図るため、特別支援教育指導員を増員します。

■ 外国にルーツを持つ児童生徒への支援

外国にルーツを持つ子どもたちが、学校や地域社会で円滑に適応できるようにするため、日本語指導プレクラスの設定準備を行うとともに、外国人児童生徒指導協力員の増員などの日本語指導体制を拡充します。



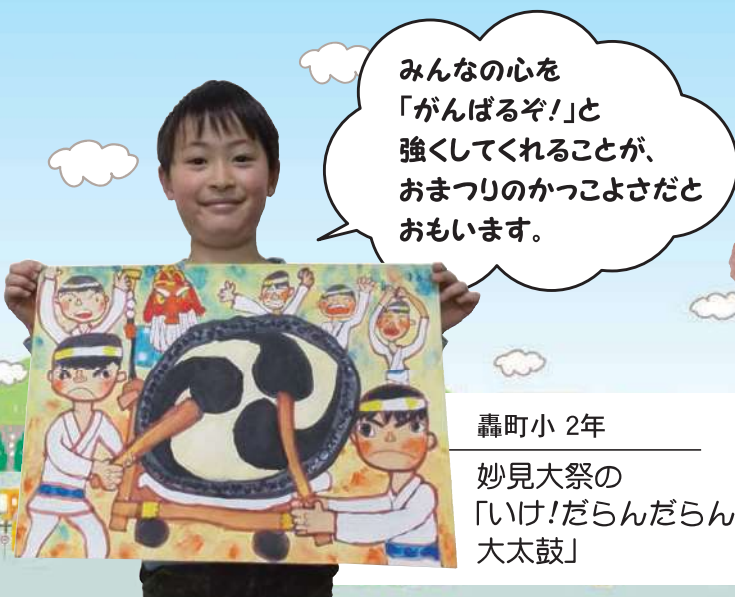
生涯学習の推進

■ 特別史跡加曾利貝塚新博物館の整備

従来の見るだけの展示から、五感を使った体験も重視した展示とするなど、縄文文化の魅力を楽しく学ぶことができ、何度も訪れたいくなるような博物館を整備します。令和8年度から設計に着手し、令和12年度に開館予定です。

■ アフタースクール

希望するすべての子どもたちに安全・安心な居場所と多様な体験・活動の機会を提供するため導入校を拡充します。



千葉開府900年



千の葉に 時を刻んで 900年

ロゴマーク・キャッチコピーは、市内の小中学生をはじめ、市民の皆様からの投票により決定しました。

今年 は 千葉開府900年

令和8年、千葉市は、まちが開かれてから900年という大きな節目を迎えます。この歴史的な節目を迎える喜びを、皆さんと分かち合うとともに、まちの成り立ちや歴史を振り返りながら、次代を担う若い世代が千葉市に誇りを持ち、より豊かな未来につなげていくために、さまざまな取組みを進めています。

千葉開府とは

平安時代後期の大治元(1126)年の6月1日に、桓武天皇のひ孫高望王の子孫、千葉常重が、現在の緑区大椎町から中央区亥鼻付近に本拠地を移し、ここに千葉のまちとしての歴史が始まったとされています。

令和8年度の主な900年記念事業スケジュール

4月

■ 4/1(水)
いのはな亭リニューアルオープン

6月

■ 6/1(月)
千葉開府900年記念式典(亥鼻公園) ☾

■ 6/6(土)
千葉開府900年記念まつり(千葉JPFドーム) ☾

■ 中旬
ジャパンビーチゲームズフェスティバル千葉

7月

■ 7/18(土)~9/6(日)
郷土博物館特別展「千葉氏リターンズ ~千葉に集う一族の900年~」

8月

■ 8/2(日)
1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭(ZOZOマリンスタジアム)

■ 上旬
千葉開府900年記念 幕張ビーチ花火フェスタ(千葉市民花火大会)

■ 8/15(土)・8/16(日)
千葉開府900年記念 千葉の親子三代夏祭り ☾

■ 8/15(土)
千葉氏サミット

9月

■ 9/16(水)~11/23(祝)
市美術館「千葉開府900年記念特別展 天一月、星をもとめて(仮)」

10月

■ 10/24(土)
千葉開府900年記念 歴史を巡るサイクリング(緑区大椎町~中央区亥鼻)

■ 10/10(土)~12/6(日)
郷土博物館特別展「千葉氏がつくったまちの900年(仮)」

■ 10/12(祝)
ワールドトライアスロンパラカップ

■ 中旬
ラジオ体操in千葉市動物公園

11月

■ 11/14(土)・11/15(日)
【ブレイキン】FreeStyle Session World Finals

■ 11/21(土)
千葉開府900年記念パレード(千葉駅前大通り) ☾

2月

■ 2/6(土)
千葉開府900年記念 歴史を巡るウォーキング(緑区大椎町~中央区亥鼻)

* 日程は変更となる場合があります。



第50回千葉の親子三代夏まつり(2025年)



夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操祭(2025年)



千葉常胤生誕900年記念騎馬武者行列(2018年)

千葉開府900年特設ホームページ



記念事業の詳細や900年のあゆみ、千葉市ゆかりの著名人からのメッセージをご覧ください。

詳しくは

千葉のまちの歴史を学ぶデジタルコンテンツ 千葉市タイムトラベル



千葉市の歴史を楽しみながら学ぶデジタルコンテンツを公開しています。詳しくは左コードのページをご覧ください。

※令和8年4月中公開予定

問い合わせ 都市アイデンティティ推進課 TEL 043-245-5660

郷土愛を育む
品物贈呈
望む心掛け

千葉開府900年

未来へつなぐ教育プロジェクト

「千葉一族からの学びを活かし、未来へ向けたひとづくり、文化づくり」を基本理念に、多角的な記念事業を展開します。

歴史と郷土愛を育む「学びの取組み」



学年に合わせた特別記念授業

小1から中学生まで、発達段階に応じた内容で千葉市の歴史と魅力を学びます。

1 8 9



記憶に残る「体験と交流のイベント」

「記念給食」 2

地域ゆかりの食材を使って、特別なメニューを提供します。



千葉市が誇る「4つの宝物」 1 6

4つの地域資源の魅力を発信します。



生徒会や子ども議会による主体的な活動 5 6

未来の後輩への動画メッセージ作成や、子ども議会での提案など、子ども自らが企画運営します。



表現活動による郷土愛の醸成 3 4

開府900年を意識した活動や、絵画コンクールを通じて千葉市の魅力を感じ表現します。



900年記念を冠とした行事 7

運動会や音楽発表会などについて、取組みの工夫を行うとともに、意識の高揚を図ります。



※イラストはイメージです

主な事業 (令和7年度からの準備事業を含む)	令和8年度 (記念期間)
1 記念集会・記念授業等	6/1を含む週 記念集会・授業実施
2 記念給食	6/1を含む週 記念給食実施
3 千葉市学校文集・詩集・読書感想文集「ともしび 本だな」	● 900年を意識した活動
4 絵を描く会 絵画コンクール	作品募集 → 1月 総合展
5 生徒会の取組み	● 未来の後輩への未来へ動画メッセージ ● 900年にちなむ活動実施 (記念制作・記念事業 など)
6 子ども議会発案の取組み	7月 子ども議会 → 提案内容の実施
7 900年を冠とした取組み	● 900年記念運動会 ● 音楽発表会 ● 学習発表会 など
8 千葉氏の歴史関連事業	7~9月 郷土博物館特別展① 10~12月 郷土博物館特別展② 10~12月 千葉氏ゆかりの地を巡るウォークラリー (約10ヵ所)
9 千葉市科学館 プラネタリウムの取組み	5月~ 900年特別コンテンツ (900年前の千葉市の星空や「妙見信仰」に関する星々) を投影

問い合わせ 企画課 TEL 043-245-5908

令和8年度から

ギガタブ^{1人1台}が新しく変わります

より軽く！
学習機能も充実！



GIGAスクール構想による1人1台端末とは？

GIGAスクール構想は、国が進める取組みで、すべての児童生徒に1人1台の学習用端末と通信環境を整え、学びを充実させることを目的としています。

千葉県では、令和8年度にギガタブの更新時期を迎えることを踏まえ、学びの質をさらに高める取組みを進めました。

新しい端末や学習支援ソフトを活用し、一人ひとりに応じた学びや、友だちと考えを深め合う学習をより充実させることで、児童生徒の確かな学力の育成につなげていきます。

新しくなる

「ギガタブ」の特徴



端末軽量化

以前より端末が軽くなり、持ち運びやすくなります。



- 保護ケースに内蔵可能なタッチペン



保護ケースと強化ガラス (Gorilla Glass3)

万が一落としても、壊れにくくなっています。



- 本体は保護ケース付き
- 予期しない取り外しを未然に防ぐケース設計



キーボードとタブレットが分離可能

タブレットのみの使用も可能。机を広く使えます。



- キーボードの取り外しが可能
- 軽くなり、机上も広く使用可能



感圧機能付きタッチペン付属

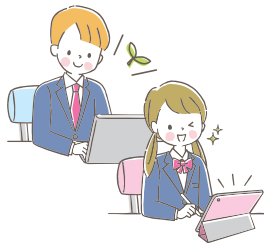
ノートのようにタブレットへ書き込みができます。



- 画面に手が触れてもペン操作のみを認識

新しくなる

「学習支援ツール」の特徴 (一部紹介)



- AIによる個別最適な練習問題に組み組める学習ツール



- 考えを見える化し、共有して学び合うための学習ツール



- 端末で実施可能な電子テスト (CBTツール)
[小4~6年] 国・算・社・理
[中1~3年] 国・数・社・理・英



- 英語で話す力を、端末を使って分かりやすく把握できる評価支援ツール
[小学校 外国語科用]

問い合わせ 教育改革推進課 TEL 043-245-5936

千葉市 未来の科学者育成プログラム

集まれ！未来のサイエンティスト

理科 数学に興味関心のある人 大募集！
将来理工系を目指している人

募集締切
5/13水

今年で15年目 受講生総数約1,000名になりました！多くの先輩方がこのプログラムで学んでいます

講座参加コース

大学教授や企業の研究員など、専門の先生から最新の科学を学びます。特殊な装置や実験器具も体験できます。



課題研究コース

自分で決めたテーマについて探究します。研究の進め方やまとめ方、発表の仕方などを支援する講座があります。

探究的な学びの過程を経て、研究をまとめます。

年間30程度ある講座から、10~20程度を選んで参加します。



実施期間 2026/6/14~2027/1/17 対象 市内在住または在学の中学生、高校生 定員 80名程度 費用 無料 申込方法 ホームページ参照▶

小学生対象の「未来の科学者育成プログラムジュニア」もあります。講座の1~2か月前の市政だよりにてご案内します。

問い合わせ 生涯学習振興課 TEL 043-245-5958 詳しくは 令和8年度 未来の科学者育成プログラム 検索

縄文春まつり



5月3日(日)祝 ~ 5月5日(火)祝
10:00~15:00 ※荒天の場合中止
加曽利貝塚博物館
加曽利貝塚縄文遺跡公園

作って学ぶ縄文体験学習や、公園内を散策しながら学べるコンテンツ、縄文グッズを販売する出店など盛りだくさん！かそりーぬと記念撮影もできます。

体験風景



物販風景



詳細は博物館ホームページで順次公開予定！



問い合わせ 加曽利貝塚博物館 (若葉区桜木8-33-1) TEL 043-231-0129

2030 OPEN

新しくなります！ 加曽利貝塚博物館

開館60周年を迎える加曽利貝塚博物館が、令和12(2030)年に新しい場所で、新しい博物館としてオープンします。

五感を使った体験など縄文時代を楽しく学べる場所になります。ご期待ください！

詳細と進捗はホームページで順次公開します



問い合わせ 新博物館整備室 TEL 043-245-5949

加曽利貝塚の 不思議な モノたち

千葉市
指定
文化財



詳細はホームページで公表中！



指定名称「加曽利貝塚出土品」有形文化財(考古資料)

今から3,000年以上も昔に作られた不思議な形の遺物達が、千葉市の指定文化財になりました。加曽利貝塚博物館で展示していますので、この機会に是非ご覧ください。

問い合わせ 文化財課 TEL 043-245-5962

市内在住・在学の小中学生だけが使える

ふれあいパスポートを持って出かけよう！

対象施設を
無料または割引で
利用できるよ！



令和8年度新規対象施設
**BOTANICA
MUSEUM**
(美浜区高浜)

映画館、温水プール、科学館、プロスポーツ
チームの試合観戦など、20施設で使えます。
対象の施設や利用方法など詳しくは、ふれあい
パスポートをご覧ください。市のホームページ
でもご案内しています。

「ふれパス」
ホームページ



問い合わせ 企画課 TEL 043-245-5908

「教育だよりちば」

刊行終了のお知らせ

千葉市の教育広報誌としてご愛読いただいている「教育だよりちば」は、平成4年の創刊以来、34年間にわたり教育に関する情報や子どもたちの教育活動の様子をお伝えしてまいりましたが、近年の情報伝達手段の変化やペーパーレス化といった社会情勢を踏まえ、今月号（142号）をもちまして、刊行を終了することとなりました。

これまでご支援をいただいた皆さま、そして取材にご協力いただいた皆さまには、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

今後は、ホームページやSNSなどによる情報発信をさらに充実させてまいりますので、よろしくお願いたします。



千葉市の教育情報については、6月から千葉市教育委員会ホームページのまとめサイトから発信します。

隔月（偶数月）の更新を目指し準備を進めておりますので、ご期待ください。

***** まとめサイトは左の二次元コードから閲覧できます



教育だよりちば創刊号表紙
(平成4年7月号)

千葉県子ども読書活動推進計画（第5次）（案）

概要版

第4次計画における子ども読書活動に関する状況

- 家庭・地域・学校の取組に分類し、134（再掲除く99）の事業を実施

主な取組

- ・読書手帳の配布
- ・ファミリーブックタイム運動の推進
- ・新就学児を対象とした図書館利用登録の促進
- ・電子図書館整備
- ・全校一斉読書活動等の推進 他

≪目標とする数値に対する状況（令和6年度）≫

- 1か月間に読んだ本が0冊の児童生徒の割合
 - ・小学生：0.5%（0.5%）、中学生：4.6%（0.7%）
- 1週間に1時間以上読書をした児童生徒の割合
 - ・小学5年生：38.1%（52.0%）、中学2年生：36.4%（52.0%）
- 児童1人当たりの児童用図書の貸出冊数
 - ・31.94冊（33.00冊）
- 団体貸出の利用団体数
 - ・89団体（128団体）

※（ ）内は目標（令和7）年度の目標数値

第5次計画における対応

⇒第4次計画の基本方針は維持しつつ、

- ・子どもの視点に立った読書活動の推進
- ・多様な子どもたちの可能性を引き出すための読書環境の整備を図る。

1 発達段階ごとの効果的な取組を推進し、読書への関心を高め、読書習慣を形成する 2 読書環境の整備と連携体制の構築

基本方針

目標とする数値（令和12年度）

- 1か月間に読んだ本が0冊の児童生徒の割合
 - ・小学生：0.5%（0.5%）
 - ・中学生：0.7%（2.4%）
- 児童生徒1人当たりの1か月間の平均読書冊数
 - ・小学生：23.0冊（22.5冊）
 - ・中学生：9.0冊（8.4冊）
- 児童1人当たりの年間の児童用図書の貸出冊数
 - ・33.00冊（32.00冊）

基本方針2

- 団体貸出の利用団体数
 - ・128団体（87団体）

※（ ）内は現状（令和4～6年度平均）の数値

第4次計画における課題

- 小学生期までの読書習慣の十分な形成
- 中学生以降の読書離れの防止
- 図書館、学校、地域の団体等の円滑な連携

計画期間

- おおむね5年間（令和8年度～令和12年度）

計画推進のための取組

<87事業>

【家庭における取組】 <3事業>

- 読書手帳の配布
- ブックスタート事業の実施
- ファミリーブックタイム運動の推進

【地域における取組】 <55事業>

- 新就学児を対象とした図書館利用登録の促進
- 電子図書館の充実
 - 中高生向け電子書籍の充実
- 児童・青少年向け図書等の充実・計画的収集
- 読書バリアフリーに配慮した資料の充実とサービスの提供
 - 【拡充】「りんごの棚」(*)の設置
- 団体貸出用図書の充実 他

【学校等における取組】 <14事業>

- 全校一斉読書活動等の推進
- 様々な読書活動（本の帯やポップづくり、読書会等）の推進
- 学校図書館資料の充実
- 各種教職員研修の充実 他

【連携、普及啓発の推進など】 <15事業>

- ・学校図書館運営委員会と図書館等との連携
- ・ボランティア等との連携によるおはなし会の実施 他

※りんごの棚：紙に印刷された資料だけでなく、様々な利用しやすい資料（点字図書、音訳図書等）を1か所に集めることで、特別なニーズのある子どもが自分に適した資料に出会えるよう設置するコーナー。スウェーデン発の取組で、障害児を支援するために作られたりんごのおもちゃから名付けられた。

千葉市子ども読書活動推進計画（第5次）（案）に係るパブリックコメント手続の実施結果について

1 実施状況

(1) 募集期間

令和8年1月20日（火）から令和8年2月20日（金）

(2) 意見数

項目	意見数
はじめに	1件
第I章 第4次計画における状況の検証	2件
第II章 第5次計画策定の基本方針	0件
第III章 計画推進のための取組	26件
巻末資料	2件
その他	8件
合計	39件

2 計画に反映した意見（4件3箇所）

項目	ページ	意見の概要	対応
第I章 第4次計画における状況の検証	p8	(2) 中学生以降の読書離れの防止 両表の最後の行にある「n」とは何か、説明をいれてほしい。	「n」がサンプルサイズ（回答者数）を意味する旨注記
第III章 計画推進のための取組	p15	(1) 図書館の役割 3段落目「図書館には、このような取組を維持し、充実させていくこととともに」について、「図書館には」の後に「図書館法及び「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に基づき」を加えてほしい。 【理由】第4次計画には記載があり、図書館の踏まえるべき基本は引き続き記載すべきと考える。	「図書館法及び図書館の設置及び運営上の望ましい基準等に基づき」という文言を追記

<p>第Ⅲ章 計画推進 のための 取組</p>	<p>p29 (修正後 p19)</p>	<p>No.82、83 推薦図書等の紹介 これらは「2 地域の役割 と取組 (1) 図書館の役 割」の事業として扱われるべ きことである。 (No.82 ブックリストの配 布、およびNo.83 の日本語を 母語としない子どもに向けた 資料情報提供) 更にNo.83 は、第4次計画 にあったように「外国人市民 の子ども向けサービス」とい う事業項目名を明記し、日本 語を母語としない子どもに向 けた資料を充実させるととも に、それを必要とする子ども や保護者に情報を届けること を事業内容に入れてほしい。</p>	<p>・No.82、83 の両事業項目の配 置を見直し、図書館の役割の 事業として位置付け ・また、No.83 の事業項目の名 称を、国及び千葉県の第5次 計画の表現を踏まえて「日本 語を母語としない子ども向け サービス」に修正</p>
<p>第Ⅲ章 計画推進 のための 取組</p>	<p>p29 (修正後 p19)</p>	<p>No.83 推薦図書等の紹介 項目名が上記のようになって いますが、第4次では項目 名が「外国人市民の子ども向 けサービス」とあったので、 今回もわかりやすく以前の表 記としてください。近年、外 国人の子どもが増えているこ とを実感しております。資料 の充実もさることながら、図 書館からの適切な支援を望み ます。</p>	<p>No.83 の事業項目の名称を、 国及び千葉県の第5次計画の 表現を踏まえて「日本語を母 語としない子ども向けサービ ス」に修正</p>